

言者ムハンマド (10/12) : フダイビヤの盟

:

明:ムスリム とマッカ によって ばれた不可侵条 に潜む れた 利。

目:[事 言者ムハンマド彼の](#)

より: IslamReligion.com

ED6 Dec 2009

集日 21 Oct 2010

クライザ族への

アラブ人にとって、信への切り、そして誓の破よりも忌み嫌われるものではありません。クライザ族へのがわれるが来ました。言者は壕のいからって来た当日、既に自分たちのへと避をませていたクライザ族との争を宣言しました。およそ一ヶ月にも渡る包の末、彼らは条件降伏せざるを得ませんでした。彼らは唯一のとして、彼らが支持していたアラブ部族による判を求めました。彼らはく同盟にあったアウス族の、サアドブンムアズをびました。彼がウフドのいでったは、他人に抱え上げられなければならない程の重でしたが、彼は躊躇なく、彼らの成人男子にし死刑の判を下しました。

フダイビヤ

言者は同年、にも抵抗されずにマッカへと入城するをたため、巡礼を意しました。マディナのムスリムたちの他にも、彼は壕のい以来、その数がえていた同盟アラブ部族にもその同伴を要しましたが、その大半は答しませんでした。こうして巡礼の装いをし、神へと捧げる牲を伴いつつ、1,400人がマッカの旅へと出しました。彼らがある谷に差しかった、友好にあった一人の男がマッカから彼らをれ、クライシュ族は彼らの前にを配置し、彼らを域から阻もうと意していることを言者に警告しました。そのた

め 言者は山岳地 からの迂回を命じ、マッカ近くの 谷にようやく辿り着いた にはムスリムたちは疲弊していました。彼らはフダイビ ヤと呼ばれる谷 に野 しました。そこから言者はクライシュ族に し、彼らはただ巡礼を行なう だけに来たのであるという心意を明し、交 を行おうと みました。彼が最初にマッカに遣わした使者は冷遇を受け、彼のラクダはひかがみを切断され、彼は何も することが出来ず に ってきました。一方のクライシュ族は非常に傲慢で 迫口 の使 を送って来ましたが、その内の一人は 言者にして敬意を わなかったために しく注意を受けたほどでした。彼はマッカに った 、このように言ったとされています：“私はカエサルとホスロ （それぞれ当 の口 マ帝国とササン朝ペルシャの皇帝の名）の威光を にこの目で かめてきたが、ムハンマドほど仲 から尊敬されている男を たことがなかった。”

言者は彼らから敬意を引き出すことの出来る使者を探していました。最 的に、マッカにおいて 威を持っていたウマイヤ家出身のウスマ ンが ばれました。ムスリムたちが彼のりを待っていると、彼が 害されたという知らせが入って来ます。そのとき、フダイビ ヤで木の下に座っていた 言者は、全ての教友たちからこれに して全 で立ち向かうという宣誓をさせますが、しばらくすると 害の知らせは いであることが判明します。また、マッカからムスリムたちを妨害する分 が送られて来ますが、彼らは捕らえられて言者のもとに れ出され、彼らは の破 を条件に解放されることになります。

フダイビ ヤの休 定

その 、クライシュ族から正式な使 が送られて来ました。一定の交 、フダイビ ヤの休 定が ばれます。そこには10年 の相互 行 の休止が明 されてきました。そしてその年 言者はカアバ 殿を れずにマディ ナに り、翌年改めて巡礼を行なうことになりました。一方クライシュ族は、翌年までに彼らがそうすることの出来る をすると 束しました。また休期中、クライシュ族 からムスリム への逃亡者は、クライシュ族 に させること、一方ムスリム からクライシュ族 への逃亡者の はされないことになりました。また 言者 の同盟として盟 の を希望する部族はそれが められ、同じようにクライシュ族との盟 の もめられました。しかしこれらの一 不平等な条件に困惑するムスリムたちも存在しました。

彼らは口々にこう言いました：“我々が 束された 利とは一体何だったのだ？”。

その 、フダイビヤからの 途において “ 利章” が 示されました。事 、この休 はそれまでムスリムたちが めたいかなる 利よりも大きなものをもたらしました。彼らと偶像崇 者たちとの の 争はそれまで大きな障壁となっていました。双方の し合いによりイスラムは急激に まり始めたのです。休 とマッカ入城までの2年 の改宗者は、それ以前の全改宗者の数を上回ったのです。言者は1,400人を えてフダイビ ヤに向かいましたが、その2年 にマッカ が休 定を破ると、10,000人のムスリムの がマッカに向けて することになります。

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/index.php/jp/articles/178>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。